

平成26年度社寺建造物装飾技術者研修事業計画（国庫補助事業）

社寺建造物美術協議会

① 伝承者の養成

1. 建造物装飾修理用資材検討調査研修会

◇研修人員 5名

◇研修期間 平成26年10月（予定）

◇研修内容

中級・上級技術者を対象とし、漆や膠、地金などの建造物装飾修理に欠かせない材料について、各部門ごとに講師を招き、その現状や問題点を検討し改善策を立て、今後の修理に生かす。

2. 会員研修会（対象：会員）

◇研修人員 17名

◇研修期間 平成26年10月（予定）

◇研修内容 講義・見学11時間

古社寺を訪ね、伝統建造物に於ける装飾分野の研鑽を深め、日本文化への更なる広い視野を持った人材を養成する。

3. 後継者養成実技研修会

◇研修人員 2～3名

◇研修期間 平成26年8月（4日～10日間程度で実施）

◇研修内容 実習70時間

各種美術工芸教育機関と連携し、文化財建造物装飾に関心のある後継者を会員各事業所にて受け入れ、仕事の実際を体験してもらうことで、将来の後継者養成に繋げる。

② 技術技能の練磨

4. 固有技術向上研修会

○建造物装飾模型製作研修

◇研修人員 5名

◇研修期間

<金工研修>

平成26年6月～10月 (予定)

<単色塗・桐油彩色研修>

平成26年10月6日～10月22日

◇研修内容

伝統建造物の模型を作成し、漆・彩色・金工・単色塗、各部門の装飾施工を行う。

各部門、一つの模型を作成することで、技術者の技術・技能の練磨を目指すと同時に、研修生が原因から製作し、建造物装飾技術の研究を行う。

製作後の模型は展示会や公共施設等で展示し、建造物装飾の技術や文化建造物保存への理解を広く世に伝える。

③ 記録の作成及び刊行

報告書と会報による研修事業の成果報告を行う。

建造物における漆塗りに関する冊子を刊行し、漆塗りに対するさらなる理解と認識を深める。

また、装飾技術の会員間での情報共有と伝播・継承を目的とし建造物装飾模型製作研修の実技研修内容を動画撮影し、その研修内容を映像記録として残す。